

需要が拡大する西アフリカ市場の戦略拠点として

セネガルに加工用トマトの営農会社を設立

農業技術資源を活用した新たなトマト産地の形成とトマト加工品市場への参入

カゴメ株式会社（本社：愛知県名古屋市）は、セネガル共和国（以下セネガル）において、加工用トマトの栽培・仕入れ・販売を担う営農会社「Kagome Senegal Sarl（以下カゴメセネガル社）」を2017年12月1日（予定）に設立致します。

当社グループ会社が保有する種子や栽培技術等の農業技術資源を用いて、セネガルに新たな加工用トマト産地を形成します。また、将来的には同国においてトマト加工品の製造まで事業領域を拡大し、同国及び西アフリカ諸国経済共同体（以下 ECOWAS）域内のトマト加工品市場への参入を目論みます。

ECOWAS 域内でトマトペーストは、基礎調味料として食文化に深く根付いており不可欠な食材となっております。しかしながら加工用トマトの栽培技術が未熟なこと、病虫害ストレスが高いこと等により、品質・量ともに十分な栽培が出来ておりません。その為、域内で消費されているトマト加工品の大半を海外からの輸入に依存している状態です。

当社は国際協力機構（JICA）の「協力準備調査」を活用し、2014年から2017年までセネガルにおけるトマト栽培・加工事業の可能性について調査を行ってまいりました。また2016年3月にはポルトガルに、加工用トマトの新産地形成及び新たな栽培技術の確立を目指す「カゴメアグリビジネス研究開発センター」を開設し、セネガルにおける加工用トマトの営農事業の可能性について研究を続けてまいりました。2017年からは日本貿易振興機構（JETRO）の「アフリカビジネス実証事業」の認定も受けております。

その結果、同国は他 ECOWAS 加盟国と比較して、トマトの栽培に適した地域があること、政情が安定しており治安面でのリスクが低いこと、また同国は勿論、近隣にはナイジェリアやガーナなど有望なトマト加工品市場が存在することなどから、ECOWAS におけるトマト事業開発拠点として適していると判断致しました。

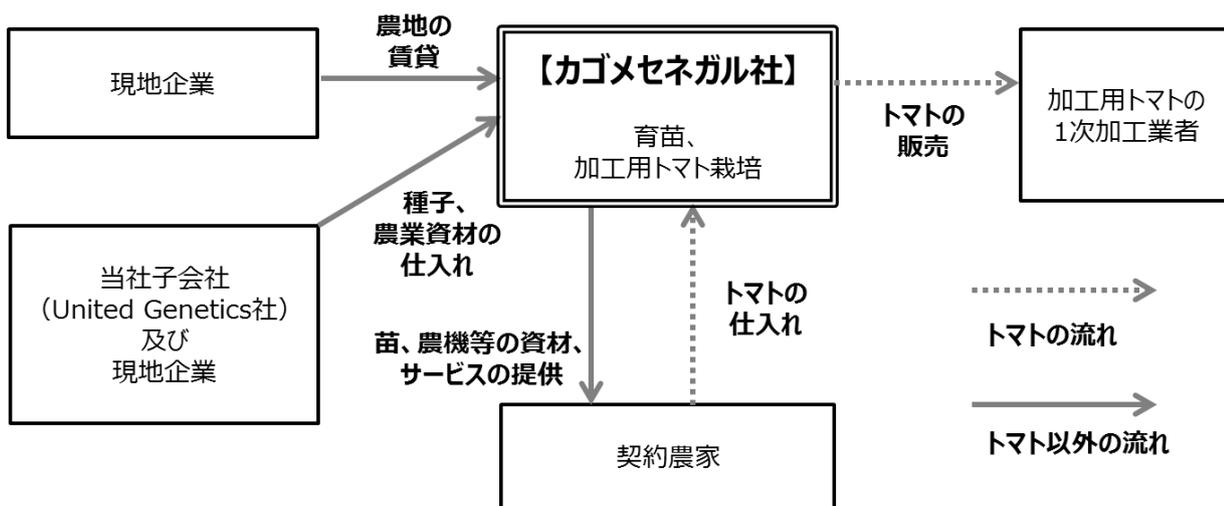
当社の国際事業は、トマトの垂直統合型ビジネスを事業推進の中核としており、トマトの種子開発から農業生産、商品開発、加工、販売までのすべてのプロセスを有することで、カゴメ独自の競争力をもつことができると考えております。セネガルにおいても同ビジネスモデルの展開を推進し、当社国際事業の発展のみならず、セネガル及び西アフリカ地域の加工用トマト市場の振興に貢献して参ります。

■ 企業概要

正式名称	Kagome Senegal Sarl
代表者	中村 浩介
設立年月日	2017年12月1日(予定)
資本金	600,000千XOF (約915千ユーロ)
事業目的	カゴメの農業技術資源を活用した、セネガルでの営農活動による加工用トマト産地形成
事業概要	加工用トマトの栽培・仕入および一次加工企業への販売

※ XOF:セネガルフラン

■ ビジネスモデル



■ セネガルでの活動風景

